



# 宇宙

Vol.46

●題字は深町正喜氏



「久住の雪景色」 小南達矢氏撮影

## 理事長メッセージ 「巖頭に悍馬を立てる」

- 「New drug market」 Part II
- 聖陵花月クリニックバス遠足
- 片男波部屋の力士がやってきた
- 力士慰問
- Seiryō Topics  
花月グランドゴルフ大会・クリスマス会・もちつき
- 日田漫歩 ③②  
「漬け物」考
- お知らせ



### 巖頭に悍馬を立てる

カメラの連写モードと連続フラッシュを確かめる。これで何度目か。留奈さん（学習院大学 OG、ドイツ在住）が村を出る時に渡してくれた自衛隊施用の大型ナイフを握り締める。

右側のヤブに虎がいる。もう 20 分も並行して歩いている。ここはタイ・ビルマ国境のバンパープアの村から北へ向かう山道。喉がカラカラだが水を飲む気になれない。ここで虎にやられたら自分の一生は何だったんだろうと思う。新聞記事の見出しが頭をかすめる。「日本人医師、虎に食われる」「無謀にもタイ山岳地を独行」

ふと右側からの気配が消える。いよいよ後ろに回ったらしい。自分にも最後の時が来た様だ。背後から飛びかかれるより正面から差し違えて死のうと思った。

振り返った時が勝負だと悟った。もう一度ナイフを握り直し、ゆっくり腰を回転した。そこには何も居なかった。虎がいない。安心と何か分からない空虚な気持ちで、自分は地面に座り込んだ。とりあえずタバコを喫おうと思った。

しかし、何故か身体中が熱かった。立ち上がって回りを見ると前面のヤブは全て火だった。焼畑の火が風で方向が変わり、こっちに来たのだ。その為、虎が消えた。もと来た道に戻ればいいのだが、そうするとあの虎がいるのかも知れない。しばらく考えたが、虎に食われるより焼け死んだ方が良かった。焼けているヤブは背丈が 1 m 以下だから何とか突破できるだろ



医療法人 聖陵会 理事長 岩里 正生



う。問題は靴がもつかどうかだ。

靴の紐を締め直し深呼吸をした時、20 年位前のある事を思い出した。それは九重、牧の戸でエル・ランチョ牧場から遠乗りに出かけた、3 月だった。雪が未だ残っている丘の頂上で、ガイドと二人でコーヒーを沸かし、サンドウィッチを食べていた。いつのまにか野焼きの炎に囲まれていた。馬に飛び乗って方向を定めた。馬は意外に落ち着いており、俺の顔を見て頼りにしている様だ。二人と二頭で炎に飛び込み、何とか脱出した。昨年、3 人の野焼きボランティアがなくなった地点だ。

その時と同じだ。臆してはならない。自分を信じて、炎の中に飛び込んだ。火の粉をあびながら懸命に走った。炎と熱でゆれる風景の向うの方に、上の村のリス族の人達がこっちに走ってくるのが見えた。たどり着いた。村人達が水をかけてくれた時、服が何ヶ所もくすぶっているのに気がついた。

今はあの時の虎が元気でメーホンソンの草原で生きているのを祈っている。彼は俺に「自分を信じる事」を教えてくれた。案外いいやつだったかも知れない。その日のバンパープアの夕焼けは、ひときわ鮮烈だった。

## New drug market Part II

「私たちは人を幸せにする新しい薬のマーケットを作っている。あなたは日本でそれを受け取り、ある人に渡すだけで莫大なお金を貰える。ここに住所を書いて下さい。」と書いてあった。俺は英語で「俺は日本の麻薬警察官だ。チェンマイ警察を呼んで君を逮捕できる。だがそれはしないからすぐに出て行け。get out!!!」

急いでチェックアウトし、荷物を持ちホテルから走って離れた。ホテル周辺は危険だ。タクシーを含



め回りにいる人の殆どが麻薬団に関係していると思われるからだ。かなり離れた所で英語ができるタクシーを拾い脱出し

た。帰国後、高倉さんは、外国から荷物が着くたびに心臓が凍りそうだったらしい……。



2002年2月  
この年タイでは、麻薬関係者5000人が射殺された。たぶん彼女もその一人であろう……。

2009年8月  
8年ぶりに白カレン族の村で警察官のスリンに会った。大きな声をあげて走ってきた。そして誇らしげに左手のあの時計を俺に見せた。

## 聖陵花月クリニックバス遠足

10月18日バス遠足で柳川の川下りに行きました。昨年までは、聖陵岩里病院の患者さんと一緒に行っておりましたが、今年は花月クリニックの患者さんだけで行っては？・・・と花月推進委員会より提案があり、花月クリニックのスタッフと企画しました。当初は参加者がいるのだろうかと心配をしていましたが、今まで聖陵岩里病院のバス遠足に参加されていた患者さんや話を聞いた患者さんが、行ってみようと言われ安心しました。

当日は、皆さんの願い通り秋晴れの快晴！ピカピカの天気と笑顔が待っていました。

コースは、日田インターを出発して旧柳川藩主別邸御花（旧柳川藩主立花家の別邸）と松濤園という立派な庭園を見学しました。階段を車椅子をかかえて上がり、皆同じコースを行けた事がうれしかったです。スタッフの力に感謝します。

昼食にうなぎのせいろ蒸しをいただき、元氣をつけていよいよ川



下り、およそ1時間のコースです。ニコニコ顔でいざ出発。出発したのは良いのですが、お腹がいっぱいなのと、静けさの中に、舟をこぐ水はねの音、時折アヒルの出迎え、沈丁花の香り、船頭さんの名調子まさに夢うつつです。車の音も聞こえませんでした。

最後はお土産です。試食のたびに「これを買う」と〇〇さん。お金大丈夫???と思いながらも、無邪気な顔にほだされ付いていきました。

怪我をする方もなく、具合の悪くなる方もなく無事にバス遠足ができ、皆様のご協力感謝いたします。また来年もご参加お待ちしております。

聖陵花月クリニック 吉富 美智子

## 片男波部屋がやってきた

片男波部屋がやってきました

九州場所の余韻漂う12月3日、聖陵岩里病院と聖陵ストリームに、片男波部屋の力士達がやってきました。テレビ中継で見るよりもはるかに大きな体で、利用者達はまずその大きさに驚かされていました。片男波部屋と言うと、四股名に「玉」が付くのが特徴で、筆頭核には玉ノ島関がいて名前は聞いたことがあるのではないのでしょうか。方男波部屋も最近の大相撲の国際化の影響か、玉鷲関と言うモンゴル人力士が誕生したそうで、当施



## 力士慰問

平成21年12月3日

当院へ高男波部屋の力士3名が来院されました。入院・外来患者さん20数名とスタッフで力士を出迎えました。

参加した患者さんのキラキラした表情がとても印象的でした。それぞれが力士にサインを頂いた



設に始めて姿をみせました。

力士達は、施設内ホール(タ・ブROOM)に特設された土俵で、技の披露をしてくれたり、スタッフと真剣??勝負をしたりして、利用者を楽しませてくれました。また、この日は、日田市のちびっ子相撲チャンピオンも招待され、力士との一番を体験しました。

大相撲は、利用者達の中でも特に人気の高いスポーツで、相撲場所が始まるとテレビの前はいつも多くの人で賑わいを見せています。その力士達を生で見る事が出来、とても満足できたようでした。最後には、プレゼント交換が行われ、利用者からは、日田のお酒を、そして力士達からはタオルが利用者一人一人に手渡して送られました。

「最近、外国人力士ばかりが活躍しているので、日本人力士にも活躍してほしいね」との声も聞かれていました。片男波部屋の力士の皆さん、頑張ってください。

聖陵ストリーム職員一同

り記念撮影を行ったりと楽しいひと時を過ごしました。

また、来年の慰問を楽しみにしています。

岩里病院看護スタッフ



## 花月グランドゴルフ大会

花月グランドゴルフ大会

11月14日(土)第7回花月クリニック杯グランドゴルフ大会が三和スポーツ広場にて行なわれました。当日の早朝までの雨も午前中には上がり、少し肌寒い中ではありましたが、白熱した(?)試合が繰り広げられました。週単位で練習をされている皆さんに年数回しかクラブを持たない私達が相手になるわけもなく、優勝されたMさんは2ラウンド合計30点、私たちだけで言えば1ラウンドのみで33点・・・の惨敗でした。試合内容はともかく、皆さんとお茶を飲んで世間話をしたり、手取り足取り教えて頂いたりと楽しい時間を過ごすことができました。

来年はチームのレベルアップを目指して、練習(あくまでも自己練習で・・・)をしていきたいと思えます。

参加して下さった皆様、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

聖陵ストリーム 小野典子



## クリスマス会

去る12月23日にストリームにて第13回のクリスマス会を開催しました。今年は新型インフルエンザの流行が懸念され、中止も検討されましたが無事に開催の運びとなりました。オーケストラによる楽器の生演奏では、クリスマスにちなんだ楽曲も有り、多くの方に楽しんでいただけ一時となりました。

来年も更に多くの方の笑顔が見られるクリスマス会に出来ればと思います。

クリスマス会実行委員会

委員長 石松義彦



## もちつき

12月27日に恒例のもちつきを行いました。

男性職員が昔ながらのきねを振り上げ、力いっぱいペタン ペタン リズミカルに叩いていました。

もちぢぎりは私にまかせてと張り切って参加される入所者もい



て、年末行事の雰囲気を楽しんでもらいました。

できたお餅は、きなこ・あんこ・だいこんおろしの3つの味を用意し、入所者・職員共に美味しく頂きました。

来年も良い年でありますように……

聖陵ストリーム 安養寺富士子



「漬け物」考

梶原義則



暮れに、刃連町の友人宅の新築祝いに招かれた。佳肴の数々に舌鼓。何よりの馳走は、彼の母親お手製の白菜の漬け物である。塩加減がほどよく、シャキッとして、それ自体を味わいたくなる逸品。つい、土産に包んでもらった。

この季節、いろんな漬け物が出回る。好きな漬け物の一つに「山汐菜」がある。市内のスーパーや隣のうきは市の「道の駅」などで売っている。久留米市北野町特産のアブラナ科。よく通う「大砲ラーメン」で、ご飯に付いてくる。実に美味。説明書には「1725年、源流域の久住山付近で大雨が降って山崩れ（山汐）が起こり、筑後川の濁流とともに種子が北野に流れ着いて自生した」とある。

「日本三大菜漬け」。九州の「高菜」、信州の「野沢菜」、それに広島「広島菜」だ。それぞれ独自の風味が、漬け物好きを魅了する。野沢菜は信州在任中、よく食べた、というか食べさせられた。11月中旬から、主婦は手を真っ赤にして1～2樽漬け込む。旅館や飲食店とも

なると量は膨大。何かにつけ、お茶うけに「わが家自慢の味」が出た。信州人の野沢菜好きには定評がある。浅漬けはお菓子感覚だ。「あめ色」になる1月末～2月が、一番うまい。

広島菜。日田っ子には馴染みがないかも。福岡在勤のころ、広島市の友人がよく送ってくれた。ピリッとした辛味と歯ごたえがいい。米麴や昆布、トウガラシ、低めの塩分が秘訣だ。1株の重さが約2キロになると、収穫する。明治時代に観音寺白菜と京菜を交配させたという。筆者は「うまさ、随一」と思っている。

滋賀県の「日野菜」、長野県の「タクワンのワサビ漬け」も面白い。食が進み、糖尿病の身がうらめしい。高菜は皆さんの方が詳しいが、わが家（本庄町）近くの「彌助寿し」の「たか菜巻き」＝写真＝が絶妙。ぜひ、お試しを。



経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

お知らせ

岩里病院のCTが新しくなります。

詳しいことは、担当医や放射線科へお尋ね下さい。

聖陵岩里病院 放射線科 宮野大樹

最新式マルチCT 3月導入

特殊検査可能



- ・検査時間 → 大幅短縮
- ・画質 → 高画質
- ・精密検査可能



仮想内視鏡検査

胸部CT検査(血管解析)

三次元画像

通常CT検査



医療法人 聖陵会

- ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>
- E-mail [seiryu@seiryu.or.jp](mailto:seiryu@seiryu.or.jp)

救急指定 聖陵岩里病院

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達・支援センター 銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院(カンボジア)